

会 議 録

1 会議名

令和5年度第8回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

(1)令和5年度灯の回廊「まき深山のともしび」の実施について

(2)上越市消防団牧方面隊 分団の再編について

(3)令和5年度第2回牧区町内会長連絡会議の開催結果について

(4)牧湯の里深山荘の今冬の営業について

○協議事項（公開）

(1)地域協議会活動報告会の開催について

○自主的審議事項（公開）

(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

3 開催日時

令和5年12月19日（火）午後6時00分から午後8時05分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、井上光廣、折笠忠一、坂井雅子、
佐藤祐子、高澤富士雄、清水薫、横尾哲郎

・事務局：牧区総合事務所 米川所長、小林次長（総務・地域振興グループ長兼務）、
佐々木市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、丸山総務班長、
藤井地域振興班長、田中地域振興班主事

8 発言の内容（要旨）

【小林次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。

【米川所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：井上委員に依頼。
- ・報告事項である、(1)令和5年度灯の回廊「まき深山のともしび」の実施について、事務局より説明を求める。

【小林次長】

—資料No. 1に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明があった件について、質問や意見等はないか。
- ・キャンドルロードを実施しない町内会があるとのことだが、実態はどうなのか。

【小林次長】

- ・中には、高齢化によって対応できない町内会もある。

【高澤委員】

- ・イベント終了後の紙コップやろうそくを片付ける袋を行政で用意していただけないか。
今までは、地区協議会で肥料袋などを使用していた。

【小林次長】

- ・担当課に確認したが、袋は用意していないとのことであった。大変申し訳ないが、従来どおりの対応をお願いしたい。

【西山会長】

- ・他に、質問や意見等がないため、一つ目の報告事項を終了する。
- ・続いて、(2)上越市消防団牧方面隊 分団の再編について、丸山班長より説明を求める。

【丸山班長】

【西山会長】

- ・今程説明があった件について、質問や意見等はないか。

【井上委員】

- ・再編によって、各々の消防部がより広い範囲をカバーすることになるが、問題はないのか。

【丸山班長】

- ・現在、牧方面隊は10消防部で構成されているが、消防部の数が多くても、各部の団員数が減少し、活動しにくくなることから、今回の再編で各部の人数を増やし、より広い範囲をカバーすることで整理させていただく形となる。

【横尾委員】

- ・消防団員の年齢制限はあるのか。

【丸山班長】

- ・とくに年齢制限はない。一方、牧方面隊の平均年齢は高い傾向であり、40代から50代の方が中心となっている。新たな団員も入ってこないため、団員の高齢化が進んでいる。

【横尾委員】

- ・消防団の活動には、様々な大会やセレモニーがあるが、年齢が上がることによって限界を感じるなどの声はないのか。

【丸山班長】

- ・具体的には、区内での操法訓練や市全体での市消防点検などが挙げられるが、年齢が上がることによって操法競技への出場が厳しい状況になってきている。牧方面隊も、部で出場できない場合は分団の中で構成したり、分団で構成できなければ方面隊で構成することとしている。各区の方面隊においても高齢化が顕著であることを踏まえ、市消防点検については、年齢的な事情で出場者を確保できない場合はやむを得ないとして、柔軟な対応を行っている。

【横尾委員】

- ・また、高士分遣所などの常備消防の任を軽くするために、装備や人員を充実していただきたい。地域からそのような意見はないのか。

【丸山班長】

- ・現在、常備消防の層を厚くしてほしいといった意見は挙がっていないが、横尾委員のご意見は、正副団長会議や方面隊幹部会議で情報共有させていただく。

【坂井委員】

- ・牧北と牧南で各1台ずつある消防ポンプ車を再編後は1台のみにするとのことだが、万が一火災が発生した場合は、消防ポンプ車1台で牧区全域を消火するのか。

【丸山班長】

- ・区内で火災が発生した場合は、全消防部のポンプ車が出動する形となる。団員数も減少し、2台のうち1台しか稼働できないなどの実情もある。それらを踏まえ、各部で検討いただき、従来どおりの台数で運行する部もあれば、再編を機に1台にする部もある。車両台数が少なくなったことで手薄になるというわけではなく、区内で有事が起きた際は全ての消防部が出動する。

【坂井委員】

- ・消防ポンプ車が使用できなくなったわけではなく、人間的な要因で使用するのが困難になったということか。

【丸山班長】

- ・そのとおりである。将来的には、1消防部1車両に再編する流れとなるが、いきなり台数を減らすことは難しい面もある。来年度の再編で、徐々に減らしていく考えであるため、ご理解いただきたい。

【西山会長】

- ・過去に分団の再編を行った際、多くの退団者が出た。今回そのようなことはないのか。

【丸山班長】

- ・年齢や諸事情などによって退団される方も想定されるが、年度末にならないと分からない。おそらく、再編を機に一斉にやめることはないと思われる。

【西山会長】

- ・休止する器具置き場は、施錠するなどして今まで以上に管理を徹底していただきたい。過去に、ガソリンを盗まれるなどの被害があった。

【丸山班長】

- ・再編後も器具置き場を使用する部においては、近郊の器具置き場も管理していただく

こととしている。その点については、改めて徹底させていただく。

【飯田副会長】

- ・現在も、総合事務所の職員が扱う消防自動車はあるのか。

【丸山班長】

- ・総合事務所には、職員で構成される事務所消防隊があり、車庫に消防車両を1台保有している。

【飯田副会長】

- ・事務所消防隊には、男性も女性もいるのか。

【丸山班長】

- ・現在は、男性のみで構成されている。

【飯田副会長】

- ・現在、牧区総合事務所も女性職員の割合が多い傾向にある。また、消防団の仕事も消火活動だけではない。そのような面では、総合事務所に事務所消防隊があれば助かる。

【西山会長】

- ・他に、質問や意見等がないため、二つ目の報告事項を終了する。
- ・続いて、(3)令和5年度第2回牧区町内会長連絡会議の開催結果について、事務局より説明を求める。

【小林次長】

—資料No. 3に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明があった件について、質問や意見等はないか。
(質問、意見等なし)

【西山会長】

- ・質問や意見等がないため、三つ目の報告事項を終了する。
- ・続いて、(4)牧湯の里深山荘の今冬の営業について、事務局より説明を求める。

【小林次長】

—資料No. 4に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明があった件について、質問や意見等はないか。

(質問、意見等なし)

【西山会長】

- ・他に質問や意見等がないため、報告事項を終了する。
- ・続いて、協議事項(1)地域協議会活動報告会の開催について、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

—資料No. 5に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【飯田副会長】

- ・私自身、3期にわたり地域協議会委員を務めさせていただいたが、地域協議会の活動報告会をメインに開催することは初の試みである。報告会当日、西山会長から総括的な話をさせていただくとともに、委員の皆さんからも4年間活動してきた個々の意見を発表していただきたいと思うが、いかがか。

【西山会長】

- ・今程、飯田副会長から提案があった件について、質問や意見等はないか。

【横尾委員】

- ・12名の委員が一人ずつ発表するということか。

【飯田副会長】

- ・地区懇談会や三会での意見交換会では、「地域協議会はどのような活動をしているのか」との意見も挙がっていた。各委員の言葉で、4年間活動してきた思いを地域の方に発表していただく形がよいと考える。

【小林次長】

- ・事務局としても、各委員から発表していただくことをお願いしたい。一方、12名が個々に発表しても、まとまりがなくなってしまうことも懸念される。それらを踏まえ、資料に記載されている諮問・答申など、項目ごとに担当を決め、項目に沿った感想や意見を発表していただきたいと考える。

【井上委員】

- ・説明内容は理解できるが、諮問・答申に対して感想を述べることはなかなか難しい。

【小林次長】

- ・感想等がなければ、今まで取り組んできた活動として発表していただきたい。

【井上委員】

- ・発表内容について、基本的な枠組を協議する必要がある。例えば、視察研修をとおして感じたことをみんなで話し合ったり、自分でまとめるなどすれば、気持ちもこもる。
- ・令和2年度の視察研修で区内を巡検した際、当日は参加できなかったものの、別日に泉集落の「棚田のきらめき」を見に行くなどして、自身の視野を広げることができた。報告会当日は、そのような話ができればよい。

【米川所長】

- ・活動の概要を説明いただく中で、井上委員が発言されたように、活動を通して学んだことや今後の取組などを発表していただきたい。

【横尾委員】

- ・活動報告会の時間は、どの程度なのか。

【藤井班長】

- ・午後1時から開始し、1時間程度を予定している。

【米川所長】

- ・活動報告会の前段では、事務局の方で地域協議会の概要を説明する時間を設けたいと考えている。

【西山会長】

- ・それでは、資料内容に沿って活動報告会を行う形でよろしいか。

【清水委員】

- ・これまでの活動内容を報告するだけではよくない。現在協議していることや今後の取組が記載された自主的審議資料を示しながら、地域の方から意見をいただいた方が次につながるのではないか。

【坂井委員】

- ・文章だけでなく、パワーポイントを用いて視覚に訴えながら活動内容を発表するのはどうか。また、清水委員が発言されたとおり、現在協議している内容や今後の取組を地域の方に示し、広く意見を聞くのもよいと考える。

【米川所長】

- ・清水委員の提案については、地域協議会活動報告会で地域協議会委員の皆さんが今ま

で取り組んできた活動内容を報告いただく中で、自主的審議として協議し、牧区の課題を整理したことや、今後の取組につなげていくことを発表いただく形となる。地域の方に自主的審議資料を示しても、すぐ理解いただくことは難しい。活動報告会終了後、牧振興会、牧区地域協議会、牧区総合事務所で意見交換会を予定しているので、その際の話題提供とさせていただきたい。また、坂井委員が発言されたように、パワーポイントを用いて写真などを取り入れながら、視覚に訴えた内容も考えている。

【小林次長】

- ・事務局の方で、委員の発表内容に合わせたパワーポイントを作成させていただく。

【坂井委員】

- ・パワーポイントに加え、資料No. 5があれば、より活動内容が分かりやすい。

【小林次長】

- ・資料については、本日協議する際の参考資料として用意させていただいた。活動報告会では、適宜修正を行い、内容が確定したものを資料として配布したいと考えている。

【坂井委員】

- ・これまで、牧区を何とかしたいという思いから、様々な団体と意見交換などを行ってきた。パワーポイントや資料を活用すれば、次期委員になる方にも分かりやすく活動内容を伝えることができ、課題の見える化を図ることができる。可能であれば、地域の方がどのようなことを考えているか知りたいと思うが、質疑応答の時間はないのか。

【米川所長】

- ・活動報告会終了後、三会での意見交換会を予定していることから、質疑応答の時間は限られている。

【坂井委員】

- ・活動報告会と意見交換会に参加するメンバーは同じなのか。

【米川所長】

- ・牧振興会については、活動報告会から参加いただくこととなっている。なるべく多くの方から地域協議会の活動を知っていただくという観点で周知を行っているところである。

【佐藤委員】

- ・活動報告会では、任期4年間の活動報告に加え、次期地域協議会委員の公募説明も行

うと思われる。できるだけ多くの方から足を運んでいただけるように、行政無線で放送するなどの対応をお願いしたい。また、町内会によって温度差があるため、町内会長に働きかけを行うなど、多くの方に来ていただけるような方策をとっていただきたい。

- ・これまで、PTAや区内スポーツ団体に通う子どもの保護者など、様々な方と意見交換をさせていただき、自身の視野が広がった。活動報告会では、そのようなことを伝えたいと考える。

【米川所長】

- ・地域協議会の活動を広く知っていただく良い機会である。周知については積極的に行わせていただく。

【藤井班長】

- ・佐藤委員が発言されたとおり、活動報告会の後半では、公募説明の時間を設ける予定である。ここで、一つ提案をさせていただく。委員12名を三つのグループに分け、資料の項目に沿って活動報告を行うのはどうか。

【井上委員】

- ・項目に対する思いは委員によって異なる。各委員が希望する項目ごとにグループ分けを行うならよいが、グループありきで進めることは賛同しかねる。

【西山会長】

- ・報告内容については、資料に記載している項目に決定してよろしいか。

(一同、異論なし)

【米川所長】

- ・井上委員が発言されたとおり、発表したい内容について各委員からご意見をいただきたい。自主的審議のほか、研修に参加した感想など、希望をお聞きする中で進めたいと考える。なお、市からの諮問事項については、事務局で対応させていただく。

【佐々木グループ長】

- ・各委員が、地域活動支援事業に関する事、自主的審議事項に関する事、研修に関する事のうち、希望するグループに分かれて報告するのはどうか。

【米川所長】

- ・まず、地域活動支援事業に関する報告を希望する方は挙手を求める。報告内容として

は、地域協議会として提案事業の審査をした経過や、採択された事業がどのように地域につながったかなどが挙げられる。

【横尾委員】

- ・地域活動支援事業は既に終了した事業である。それを活動報告会で報告することは賛同しかねる。

【米川所長】

- ・今程の意見を受け、地域活動支援事業についても、事務局で対応させていただく。地域協議会委員からは、自主的審議に関すること及び研修に関することについての報告をお願いしたい。

【佐藤委員】

- ・研修に関することを希望する。

【飯田副会長】

- ・私も、研修に関することを希望する。

【米川所長】

- ・佐藤委員、飯田副会長以外については、自主的審議に関することの報告を希望することとよろしいか。

(一同、異論なし)

【米川所長】

- ・本日欠席の委員については、後日確認させていただく。また、活動報告会の最後、西山会長から総括的なお話をさせていただきたいと考えている。

【井上委員】

- ・西山会長からお話いただくのは、最初の方がよいと思われる。

【西山会長】

- ・個人的には、どちらでも構わない。

【米川所長】

- ・活動報告会の流れとしては、まず地域協議会の概要について、事務局が説明を行う。続けて、市からの諮問事項や地域活動支援事業について説明した後、委員から自主的審議や研修について報告いただき、最後に西山会長から総括的なお話をさせていただきたいと考えている。

【飯田副会長】

- ・当日の進行は誰が務めるのか。

【藤井班長】

- ・活動報告会は地域協議会がメインになるため、地域協議会委員から務めていただきたい。

【西山会長】

- ・飯田副会長がよいと思うが、いかがか。

【飯田副会長】

- ・個人的な意見としては、事務局が進行する中で、冒頭でこれまでの経緯を説明いただいた後、委員が自主的審議や研修について報告すれば円滑に進むと思われる。

【藤井班長】

- ・予定としては、本日の協議で具体的な報告内容を決定し、1月の地域協議会で資料の内容を確認していただく。その後、2月の地域協議会までに資料を完成させ、本番を想定した予行練習を行いたい。なお、進行については事務局で検討させていただく。

【小林次長】

- ・先程も申し上げたとおり、事務局では委員の発表内容に合わせたパワーポイントの作成を考えている。これまでの活動写真のほか、三会での意見交換会で意見集約した記録用紙などを活用しながら準備を進めていきたい。本日の協議で決定しない場合は、後日文書を送付し、各委員の希望を取りまとめさせていただきたい。

【飯田副会長】

- ・本日欠席の委員もいることから、後日文書を用いて、希望の取りまとめをお願いしたい。

【西山会長】

- ・以上で、協議事項を終了する。続いて、自主的審議事項(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

—資料No. 6に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【井上委員】

- ・定住を目指したり、空き家を扱うことはなかなか難しい。以前、意見交換会の場で「定住ではなく、一時的な住まいとして居住する」という考えがとても印象に残っており、牧区の現状に合っている。区内の体験ツアープログラムを作成するなどの「体験・居住」を目指した方がよいと考える。

【清水委員】

- ・資料中の「移住・定住」において、「地域イベントの情報発信」と記載されているが、イベントだけでなく、地域の風景なども取り入れた方がよい。また、「農業・林業」において、「イタヤカエデの植栽」とあるが、栽培や加工グループを組織化すれば輪が広がると考える。

【米川所長】

- ・前回の協議で、子育てと移住を結びつけることは難しいとの意見が挙げられたことから、「移住・定住」とさせていただいたところである。空き家についても、地域協議会での検討は難しいため、総合事務所で検討することとさせていただいた。井上委員が発言されたとおり、牧区のよさを知り、体験いただくことによって居住につなげるため、体験を中心に協議していくことも考えられる。その点については、事務局で整理し、次回お示しさせていただきたい。また、清水委員からのご意見についても検討させていただきたいと思う。

【井上委員】

- ・例えば、区内で空き家を購入して活動している人を紹介するなど、体験につながる情報発信などが挙げられる。

【米川所長】

- ・情報発信については、今年4月から、SNSを活用して、牧区総合事務所の非公式アカウント「m a k i _ h i t o _ k o i」を開設し、牧区の風景などを投稿している。風景に限らず、イベント情報なども発信しており、興味を持ってもらうツールとなっている。
- ・本日いただいた意見については整理を行い、次回お示しさせていただく。

【西山会長】

- ・以上で、自主的審議事項を終了する。続いて、その他連絡事項について、事務局より

説明を求める。

【田中主事】

- ・「牧区地域協議会だより（第59号）」12月25日号発行について
- ・次回地域協議会の開催は1月23日の火曜日、午後6時からとする。後日、案内文を送付するため、出欠についてご報告いただきたい。

【西山会長】

- ・他に意見を求めるが発言がないため、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

【飯田副会長】

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。